

2024 年 8 月 8 日

報道関係各位

「KAMPO のヒ・ミ・ツを探る！ツムラ漢方記念館見学会」 3 年目で参加者数累計 300 名を突破

～親子で楽しく学び、漢方への理解を促進～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、7 月 26 日、27 日、30 日、31 日の 4 日間、ツムラ漢方記念館（茨城県阿見町）にて、小学校高学年から中学生を対象とした「KAMPO のヒ・ミ・ツを探る！ツムラ漢方記念館見学会」を開催いたしました。通常は医療関係者を対象とした見学施設ですが、今回は特別に一般生活者向けに公開いたしました。



オンライン見学会の様子



生薬を手に取り、香りや形状を観察する参加者の皆様

当社では、親子で楽しみながら漢方について学んでいただくことを目的とし、2022 年より夏休み限定でオンライン見学会を実施してまいりました。そして今回、3 年目にして初めてハイブリッドでの開催が実現いたしました。7 月 26 日、27 日は、参加者合計 31 名がツムラ漢方記念館を訪れ、実際に生薬に触れ、併設の薬草見本園で植物を観察するなど、漢方について五感で学習いたしました。そして 7 月 30 日、31 日は、ツムラ漢方記念館より Zoom 配信を行い、参加者合計 27 名が漢方の歴史や漢方薬を作る工程など、クイズを交えながら楽しく学習いたしました。見学会の参加人数は、3 年間の累計で 306 名となりました。

参加者からは、「生薬の香りの違いを嗅ぎ分けるのは難しかったが、実際に体験できて面白かった」

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、山田
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

「漢方薬が日本の薬だと初めて知った」「病院へ行ったら『漢方薬の作り方を知っているよ』と先生にお話ししたい」「薬草見本園では、漢方薬の処方ごとに薬草が植えられていて、とてもわかりやすく感動した。本物の生薬を触ったり、実際に煮出した漢方薬の色や香りも体験することができたので、子どもにとって非常に良い経験になったと思う」といった感想や、「漢方薬の番号はどのように決められているのか。また、4、13、42、49番などの番号が抜けているのはどうしてなのか」「漢方薬の名前は何か由来なのか」「朝起きられるようになる漢方薬はあるのか」など、多くの質問が寄せられました。お子様だけでなく保護者の皆様も当社社員の話に熱心に耳を傾けており、対面、オンライン共々活気あふれる見学会となりました。

今後もより多くの方々に漢方を身近に感じ、漢方や生薬への理解を深めていただけるよう、本取り組みを積極的に推進してまいります。



薬草見本園で生薬の観察ポイントを紹介



漢方薬の作り方を見せるツムラ漢方記念館の吉田館長



ツムラ漢方記念館内で当社概要や漢方について説明



オンライン見学会では敷地内にある工場製造棟からクイズを出題

■ ツムラ漢方記念館

ツムラ漢方記念館は、当社の茨城工場敷地内にある医療関係者向けの見学施設です。創業 115 周年のメモリアル事業として 2008 年にリニューアルオープンし、その年のグッドデザイン賞（カテゴリ：公共空間／土木／景観）を受賞いたしました。漢方・生薬に関する歴史的に貴重な書物の他、100 種類を超える生薬の展示、漢方製剤の製造工程や品質管理などを専門のスタッフがご案内しております。



以上